

2026 年 9 月 30 日

各 位

株式会社 北海道銀行

「企業価値担保権」を活用した金融支援の実施について
～株式会社ホーム企画センターの成長を新たな手法でサポートいたします～

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、株式会社ホーム企画センター（代表取締役社長 中村 靖哉、以下「ホーム企画センター」）へ「企業価値担保権」を活用した金融支援を実施しましたので、お知らせいたします。

本件は、ホーム企画センターの「事業全体の価値」に着目した金融支援となります。

当行では引き続き、地元の事業者さまにおける意欲的な取り組みを積極的に支援することで、地域経済や雇用の維持・拡大に貢献してまいります。

記

1. 対象企業の概要

企業名	株式会社ホーム企画センター  株式会社ホーム企画センター		
本社所在地	北海道札幌市北区北 38 条西 2 丁目 1 番 26 号	創 業	1968 年 11 月
資本金	4,000 万円	売上高	1,660 百万円 (2026 年 3 月期)
事業内容	・ ホーム企画センターは、札幌市を中心に住宅の設計・施工・販売、住宅地の開発・分譲・販売、リフォーム・リノベーションなどを展開しています。 ・ 1968 年の創業以来、地域に根差した住宅事業を展開し、独自技術や「suminoie」ブランドを通じて、快適な住環境の提供に取り組んでいます。 ・ 家づくり研究・情報発信の体験型複合施設「HOME LAB」の運営などを通じて、お客さまとの継続的な関係づくりにも取り組んでいます。		

2. 本件の概要

ホーム企画センターが保有する販売用不動産などの個別資産の価値のみならず、「住宅の企画・設計・施工・販売に関するノウハウ」「地域における顧客基盤」「独自の技術・ブランド」「継続的な住宅受注・事業運営力」など、継続的に事業価値を生み出し続けることが可能な経営力を評価し、中長期的な視点でホーム企画センターの事業価値向上を目指すべく「企業価値担保権」を活用した金融支援を実施いたしました。

従来、住宅用地や分譲住宅などの販売用不動産については、個別の不動産担保による金融支援を行ってきました。本件では、企業価値担保権を活用することで、個々の販売用不動産への担保設定に過度に依存することなく、事業全体を捉えた金融支援を行います。

ホーム企画センターからみましても、中長期的な自社に対する金融支援方針が明確になるほか、継続的な事業運営力・収益力を含めた事業価値全体を金融面から評価、支援されることで、今後の成長投資や事業戦略における柔軟性向上を図ることが期待されます。

＜今回の金融支援の概要＞

資金使途	・ 住宅用地の取得資金 ・ 分譲住宅等の建設資金 ・ その他住宅事業にかかる運転資金
融資金額	コミットメントライン設定額 9 億円
融資実行時期	2026 年 9 月 30 日

3. 「企業価値担保権」とは

「企業価値担保権」は、2026 年 5 月 25 日に施行された事業性融資推進法（令和六年法律第五十二号）により創設されました。不動産や設備などの個別資産だけでなく、顧客基盤、ノウハウ、契約関係などを含めた「事業全体の価値」を担保として活用する新しい制度です。

従来型の資産担保に比べ、企業の成長性や継続的な事業活動に着目した資金調達を可能とするため、企業と金融機関が中長期的な視点で事業価値向上を目指す金融手法として期待されています。

4. 該当する SDGs の目標



SDGs は Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは、2019 年 4 月に「SDGs 宣言」を表明しました。

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

北海道銀行 融資部

経営企画部広報 CSR 室

長尾、田中 TEL：011-233-1061

坂野、石水 TEL：011-233-1005